

「ご挨拶」



韓承哲 牧師
(在日大韓基督教会・西部地方会会長代理
神戸東部教会)

「共に祈りましょう」

新型コロナウイルスの世界的大流行が始まってから、2年半が過ぎました。この「コロナ禍」は、私達が今まで「当たり前」だと思っていたことを大きく揺さぶると同時に、私達の社会に從前から存在していた、しかも多くの人の目には認識されていなかった問題を露わにしました。それはとりわけ、普段から生活困窮した人々の窮状がさらに強まるという不幸な形で現れました。

私自身はこれまで「愛の家」の活動に直接参加したことはありませんが、ここでは「愛の家ニュース」の一読者としてご挨拶させていただきたいと思います。

今回このご挨拶を考える中で、「愛の家」のニュースに掲載された働きを見ながら、「愛の家」の働きの大きさと広さが改めて思われました。「愛の家」ニュースでは、本当にさまざまな方がその働きにかかわり、さまざまな活動がなされている様子が紹介されていました。

浪速教会「愛の家」のニュースの中で、このような祈り課題がありました。

『浪速教会「愛の家」の活動は、1週間を通してほぼ毎日あります。木曜・金曜炊き出しのための買い出し、病人を訪問したりお世話をしたり、食事の盛り付けに配膳、食器洗いや片づけ、頂いた食品やパンの仕分け、等々。創立当初～数年前までは信徒のおじさん達が率先してそれらの作業を各自の担当として、毎日空き時間に活動してくれていました。しかし彼らも今や70代、80代のおじさんです。どうか後継者となれる若い世代の方々に神様の御業のために献身したいという人々があらわれますように』

この祈り課題を持って神戸東部教会も浪速教会と共に祈っていききたいと思います。

皆さまのお働きが、ますます神さまに祝福されますようにお祈りします。

「ご挨拶」



宋 福姫 勸士
(在日大韓基督教会・全国教会
女性連合会会長・名古屋教会)

「隔てのない隣人愛」

小さくされた者を愛した主の御心に従い、御言葉の糧と肉体の糧を分かち合う「愛の家」の働きに敬意を表します。また、尊いこの働きを喜び、導いてくださる主を褒め称えます。

全国女性会の委員であれば「愛の家」に訪問する機会があったはずなのに、私は訪問したことなく、紙面の挨拶になり、申し訳ない気持ちが率直な心です。いつか主の御心があれば「愛の家」を訪問してみたいなと思っております。

さて、終わりの見えないコロナ感染症とウクライナの戦争は、世界のあらゆるところに影響を及ぼしています。

このような時代であるからこそ、イエス・キリストが愛した隣人は誰だったのか、私たちは誰の隣人になるべきであり、利己的で排他的な隣人愛を愛だと思っていないのかを考えるべきだと思います。

全国教会女性連合会は、先輩方が築いてきた教会女性のリーダーシップ育成を大事にしながら「接ぎ木された者として」各教会の女性会と連合し、愛の実践を伴う取り組みを広げたいと思います。

また、神に愛され赦されている恵みを共有しつつ、隣人の欠けを補い、また、自らの欠けも補ってもらい、祈り、祈られ、愛し合う全国教会女性連合会になりたいと思います。

高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、私たちの主イエス・キリストによって示された神の愛から、私たちを引き離すことはできません（ローマの信徒への手紙8:39）。

抑圧されたもの、疎外されたもの、そむけられたものと共に生きる「愛の家」の職員と奉仕者の皆さまの上に神様の祝福が豊かにありますようお祈り申し上げます。

奉仕者の声

『 待ち望んで 』

李 香蘭 勸士
(日本自由メソヂスト教会
大阪東南キリスト教会)

私が、浪速教会「愛の家」で毎週木曜日の朝、弁当を作る奉仕を始める事になったのは、亡き古川富也先生(元大阪東南キリスト教会の牧師)のお陰でした。古川先生は私たちの家族と深いつながりがあります。しかし先生は2021年2月、入院中にコロナ院内感染で急に亡くなられ東南キリスト教会では送別式を行いました。送別式では浪速教会の金鐘賢牧師が来て祈りを捧げて下さいました。その時、私が金先生に「浪速教会で炊き出しの奉仕をしたいです。」と尋ねると、金先生は木曜日の炊き出しについて話してくれました。古川先生は、天国で生前愛していた浪速教会の炊き出しに少しでも力になるように私を導いて下さったと思います。

私が毎週木曜日お弁当作りの奉仕に参加する事は小さな奉仕にすぎないと思います。水曜から木曜早朝にかけて、浪速教会の牧師夫人と調理師たちが作っておいたおかずをお弁当に入れて、お弁当を炊き出しに来られる方々に配るだけです。しかし私が浪速教会ボランティア活動に参加し、私を驚かせた事がたくさんありました。

まず、浪速教会の奉仕者について。

ご飯炊きの奉仕をしている兄弟はとても熱心な人で、夜1時頃に教会に来て炊き始めます。彼の奉仕は奉仕を越えて犠牲していると言うべきです。彼は炊き出しに来る200人以上の人々を覚え、お弁当を美味しく作るためにほとんど眠らなかったのです。私が朝彼に会った時には目の辺りが黒くなっていました。金牧師夫婦は健康を心配し、炊き出しの時間を延長しましたが、彼の犠牲は殆

ど変わりありませんでした。

二つ目は浪速教会の奉仕者の献身です。浪速教会のシェフは一流の料理人です。大きなホテルだけでなく、海外で料理人として和食料理を作り、教えたと言われています。神様が西成の路上生活者のためにこのような素晴らしい料理人を用意してくださった事は驚くべきことです。私は、彼が豆腐を切る姿を見て驚きました。切っておいた豆腐はメジャーで図って切ったかのように綺麗に切ったので驚きました。作ってトレイの上に置いた卵焼きが私には花卉一つ一つのように見え、全体が黄色い花のように綺麗に見えて感動で言葉を失



われました。浪速教会のお弁当は、味も栄養バランスも色も良く考えて作ったボリュームたっぷりのお弁当です。料理人は「右腕が痛くてリハビリのために病院に行かなければならない」と言っていました。お弁当の準備に忙しくて病院に行くことすらできませんでした。

三つ目は喜びです。

お弁当を作る人はみんな笑顔です。主な仕事は台所で、料理人が作った揚げ物、牧師夫人が他の

おかずを準備して、他の人がご飯をパックに入れます。厨房以外のホールには8人ほどが集まり、1パックにはご飯、もう1パックには色んなおかずを入れます。皆が役割を分担していますが、手の動きが速いので競い合っているかのように見えました。奉仕者達のほとんどは朝食さえ食べず、朝早く来て奉仕します。彼らは金儲け仕事やバイトではなく完全な奉仕なのにそれほど熱心に働くので驚きました。でも奉仕者達は熱心に働くだけでなく、いつも笑いに満ちて楽しく働いています。彼らは冗談を言ったり、明るい顔で話したり、楽しくお弁当を作るので、これを食べる人は祝福されると思います。

お弁当作りを始める前に牧師夫人は私たちに、イエス様に捧げる心でこの弁当箱を作るように言います。また、私たちが炊き出しに来て頂く一人ひとりに配るときも、主が与える様に愛を込めて与える様に言われます。いつも祈ってから配り、弁当箱には主の御言葉の紙を入れて配ります。お弁当を作ってくれる人だけでなく、炊き出しを待っている西成の参加者達の話聞いて驚きました。昨日は炊き出しの運搬車が到着した時点で既に150人以上が並んでいました。一番先に並んでいる人に聞いたら7時から待っていたと言うので、10時に配布されるまで3時間待ったとのことでした。ある人は、寒いのに朝5時から5時間以上待っていたと言いました。何かの賞品をもらうわけでもないのに、何でこんなに早くから待っているのかと思いました。しかもコロナの感染防止のため、配る場所は高速道路の高架下で配ります。雨の心配はなく、夏は涼しい風が吹いていますが、冬は冷たい風が吹いて来て寒いです。

貧しい人を神様はどう思われるか？ きっと神様は彼らを愛して主のもとに立ち返るのを長く待っておられると思います。浪速教会の牧師夫婦は炊き出しを25年間続けて来たと言われます。毎週木曜日にはお弁当、毎週金曜日にはおにぎりと

味噌汁、日曜日にもお弁当を分かち合っています。浪速教会は、それ以外にも路上生活者が生活保護を受けて自分の部屋で生きる様に福祉住宅事業も行います。今まで金牧師はホームレスのためなら何でもしました。今では素晴らしい教会と施設がありますが、最初はホームレスの人々を自分の部屋に連れてきて共に共同生活をしました。その当時、牧師夫婦の子供達は思春期でとても苦しかったと思います。神様は金牧師夫婦が苦難に耐え、これらのホームレスの人々を主の愛で仕えるのを待っておられたのか？ その結果、今は、路上生活していた兄弟たちが其々、台所の奉仕、賛美のドラマー、住宅のリフォーム工事の手伝い、その他の教会の仕事で奉仕等々・・・をしていると話してくれました。多くの兄弟たちが洗礼を受け、教会に通い、喜びで輝く姿になりました。

今日でも、多くの人々は冷たい高架下で列に並んで炊き出しを待っています。しかし、浪速教会「愛の家」のお弁当は、彼らが温かい主の懷に抱かれ、喜び感謝して生きるのを待っておられる神の愛を表すために今も続いています。



特集 「愛の家」の恩人⑫

浅野間 正勝 名誉執事

(浪速教会 信徒)

浅野間兄弟は神の恵みを受け生きている人であると思っております。彼は少年時代、貧しくて自分で働いて生きるようになりました。良く食べられなかったので肺結核を患い、神の恵みで生かされました。年老いてからも栄養失調で目に斑点ができて目の視力が落ちて目の前にあるものも見えない程、目の視力が悪くなりました。

彼が私達の浪速教会に入り共に生きるようになった時は目が悪くて生きるすべがなかった時でした。幸い目が悪いから働けないと眼科の先生が意見書を書いてくれたので生活保護を受けることになり「愛の家」福祉部屋で住み、浪速教会の家族になりました。

彼は奉仕精神が強くて目が見えなくても体が弱くてもまじめに与えられた仕事をして浪速教会の家族みんなに信頼され尊敬されるようになりました。そんな彼に失明の危機が訪れ私達は共に祈り手術する様に勧めました。失明のリスクもある手術でしたが手術した後、目がよく見える様になり聖書も読めるし遠い所の信号も見える様になりました。

彼は神様に感謝して以前よりもっと喜んで奉仕に励むようになりました。私達教会の賛美チームのドラマーとして14年間奉仕して来ました。伝道集会の時は整理券配りや交通案内をし、今もコロナ禍の中で炊き出しの準備の奉仕に欠かさず奉仕し、毎週金曜の炊き出しの時に皆が一番嫌がる仕事である西成公園の門前で2時間、門番をして車両案内をする奉仕を一度も休むことなくしています。彼はとても子供達を愛し、子供達が教会に来るのを待って迎えてくれますし、子供達のためにヤクルトやお菓子を準備してプレゼントしています。

何より浪速教会の家族みんなが感謝していることは週4回教会のゴミ出しをしている事です。朝5時起きてゴミを出しゴミ置き場の管理をしているので町の人からも尊敬されています。いつも私達は浅野間兄弟の献身的なご奉仕に感謝し77歳であるので健康が守られます様に祈っております。



「愛の家」会計中間報告書(2022.1.1-10.31)

収入	22 予算	2022.1-10
定期後援会	800,000	485,005
一般後援会	1,400,000	1,635,912
クリスマス献金	1,400,000	420,000
食事献金	100,000	0
総会支援金	200,000	200,000
地方会支援金	450,000	350,000
御米献金	100,000	36,000
小計	4,450,000	3,126,917
繰越金	1,104,952	1,104,952
合計	5,554,952	4,231,869

支出	22 予算	2022.1-10
事務・備品・印刷費	350,000	123,761
発送費	100,000	34,300
交通費	10,000	0
車両維持費	200,000	10,800
奉仕者支援金	400,000	75,000
研修費	100,000	0
御米代	500,000	481,800
副食費	2,500,000	1,499,344
建築積立金	1,000,000	1,000,000
救済費	50,000	2,335
修理施設費・予備費	344,952	0
小計	5,554,952	3,227,340
繰越金	-	1,004,529
合計	5,554,952	4,231,869

御言葉とメッセージ付きお弁当

(パンのお土産もあるよ！)

浪速教会「愛の家」のスタッフたちが日々の祈りと共に愛情と時間、汗水をたっぷり込めて作成している木曜日のお弁当はこのような仕上がりです。フードバンク関西とフードバンク大阪、また全国からの支援者の皆さんが送ってくださる食材を元にメニューが台所チームによって決められます。また、フードバンクよりパンやお菓子などの食材が与えられたら、お土産として一緒に渡します。それらを受け取る人たちは「今日のメニューは何か、袋には何が入ってるのかなあ」とプレゼントを貰うかのようにワクワクドキドキしながら受け取ります。幸せの瞬間ですね♪





路上生活者支援のための クリスマス献金のお願い



御子イエスのお誕生を待ち望む季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

2022年も、浪速教会「愛の家」は支援者の皆様からの多くの愛を受け、その愛を分かち合う活動ができましたことを心より感謝申し上げます。

コロナ感染に不安を感じる日々がまだまだ続く中、浪速教会「愛の家」の炊き出しも様々な影響を受け続けています。創立以来続けてきた木曜集会と金曜炊き出しは、プログラムを変更しての活動を継続しています。コロナ前よりも炊き出しの参加者が圧倒的に増えています。しかし、炊き出し用の食事を準備する奉仕の人出が足りずに事務スタッフや金牧師まで総出でお弁当作りをしています。木曜炊き出し（み言葉メッセージ入りお弁当）には常時160～200人、金曜炊き出し（お握りとカップ麺→お握りと温かいみそ汁に変更しました！）には約160人～220人の路上生活者へ食事の提供とみ言葉のメッセージをお渡しすることができました。この炊き出しの実際の経費として、毎週63,000円を支出しております。（内訳概算お米60kg・18,000円、副食費45,000円、コロナ前の経費合計は約57,000円）

だんだんと風の冷たさが身にしみてくるこの季節、路上生活を余儀なくされている西成の人々にはますます過酷な季節になります。コロナにより当教会が休止中の生活相談、生活用品収集分配、伝道集会、散髪、シャワー奉仕などの再開の日を一日でも早く迎えられるように、西成の皆さんが無事に冬を乗り越えていくことができますように、お祈りください。また一人でも多くの西成の仲間が、主に出会い、主に新たにされて、残りの人生を主と共に歩む決心へと導かれますよう、お祈りくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

クリスマスは、創造主なる神が私たちの受けるべき罪の代償を担わせるために、独り子イエス様をこの地に送ってくださったその恵みの深さに感謝をささげる時です。2022年も誠実に恵んでくださった神様に感謝を表すため、日本社会の底辺においやられ、衣食住にさえ事欠く西成の皆様のために、どうぞ寛大に捧げていただきますようによろしくお願いをいたします。

『あなたがたによく言うておく。わたしの兄弟である

これらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』

2022年度 献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、靴、靴下、下着、靴、タオル、ホッカイロ、
食材、お米を送って下さい（スーツ類は需要が少なくなっています）

献金振込先（ゆうちょ銀行）

金融機関コード：9900 店番：99 預金種目：当座
店名：〇九九店（ゼロキユウキユウ店） 口座番号：299392

口座名：在日大韓基督教会浪速教会

〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2022年12月

在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

金 鐘 賢 牧師



木曜・お弁当と御言葉メッセージ配り

「主よ、今日もおいしくて栄養バランスが良い、衛生的で見た目も良いお弁当がつくれますように・・・」と祈ってから木曜日の一日が始まります。前日の水曜日に準備しておいたおかずを弁当パックに入れる作業と早朝から炊いた温かいご飯を入れる作業で浪速教会の厨房は朝からとても活気に溢れます。浪速教会のスタッフたちと遠方から来られる奉仕者の姉妹二人、合わせて 10 人ぐらいが 200 人分のお弁当を作ります。困っている人々のための奉仕ってとても生き甲斐のある働きですので皆喜びに満ち溢れて和気あいあいです。とても献身的な兄弟一人が早朝 3 時ぐらいから来て色々準備してくれるおかげで、朝の 9 時ごろには全ての作業が終わります。炊き出しの出発時間が午前 10 時なので 1 時間ぐらいの余裕があるため、最近はプロのドラマーとギタリストの伴奏に合わせて賛美する喜びを味わっています。喜びに満たされた笑顔で炊き出しの現場に行ってもすでに待っておられる方々に温かいお弁当とイエス・キリストの御言葉メッセージを配ります。皆の健康と救いを祈りながら。



長蛇の列
高架下でとても寒い



配食風景



足らない分を追加で作っている

金曜・おにぎりとお味噌汁（カップ麺）配り

浪速教会の金曜炊き出しと言えば「爆弾おにぎりとお味噌汁」のセットで 20 年近く続けてきました。しかし、3 年前から思わぬコロナ感染症予防のため、皆と一緒に食べたり飲んだりすることができなくなりました。それに伴って私達もみそ汁を止めて、お持ち帰りができるカップ麺を配るようになりました。3 年間は「おにぎりとお味噌汁」がセットになりいつの間にか定着してしまいました。ところが、今年に入ってコロナ感染者がどんどん減り、国からの色々な規制緩和も発令され、私達も 8 月からはカップ麺の代わりにみそ汁を配るようになりました。真夏に熱いみそ汁を配ると飲まないでおにぎりだけを持ち帰る方もおられましたが、気候が寒くなってくると最近は温かいみそ汁の人気が高くなりました。ほとんどの方がお代わりをし、中では 4~5 回もお代わりする人たちもおられます。満面の笑顔で「おいしいです。お腹いっぱいになりました」と感謝を表してくださると嬉しくて嬉しくてたまりません。来週にはもっとおいしく栄養たっぷりのものを作ろう！」と決心するようになります。



温かいおみそ汁どうぞ～



炊き出しを待つ列



衣類・生活
用品配り

イースターに洗礼を受けた兄弟たち

今年は 3 人の兄弟がイースター洗礼を受けました。68 歳、58 歳、51 歳の兄弟達です。3 人とも木曜・金曜炊き出しがきっかけになってイエス・キリストを信じるようになり、洗礼に至りました。洗礼を受けて神の家族となった彼らは日曜日の礼拝に参加しています。信仰は聞くことによって成長するので、彼らが真面目に礼拝に参加して御言葉を聞くうちに信仰が成長し、立派な信仰者になるようにお祈りを願います。

ようこそ浪速教会へ🎵



まだ訪問された事のない方々へ
浪速教会をご案内いたします🚩

駐車場 兼 作業場



礼拝堂



厨房



食堂



散髪奉仕室（シャワー室前）



シャワー室



牧師室 兼 事務室



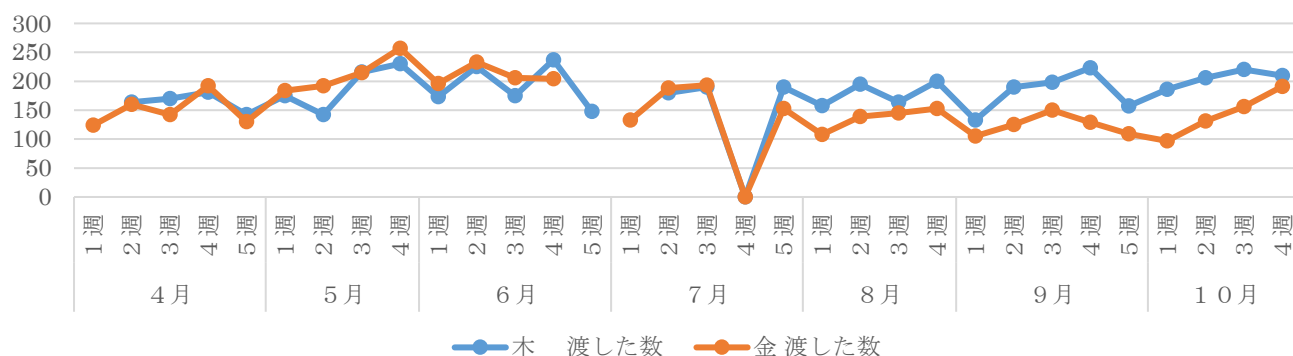
子ども礼拝室



二階へ上がる階段



炊き出し 参加者数 統計 2022.4~10月



献金者お名前(敬称略・順不同)

(2022年4月1日~2022年10月31日)

定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ 大阪淡路チャペル・洲本チャペル、大阪東南キリスト教会、在日大韓基督教会関西地方会、ホサナ教会、山住達樹、新国久男、朴栄子、ブロックソム泰子、金栄吉・李香蘭、金鐘賢・姜貞淑、大木正典、金英姫・森元孝、市川和俊、平野竜一・真希、匿名

一般後援金、イースター献金

メルボルンハンビツ教会、東京インマヌエル教会、名古屋教会女性会、南浦和教会、沈貞児、尹恵丁、金明均、野津道代、李恩順、重松絢子、吉村俊郎、入江浩史、西成公園の人、島村教子、久保安子、ユ・サンジュン、高架下の人、木村敏子、ソン・スンホ、匿名

クリスマス献金

郡山伝道所

お米、お米献金

洲本チャペル、神戸布引教会壮年会、大井時子、梁漢順、河内常男、松尾保司、伊藤久美、井上久夫、匿名

食材

韓国大邱ソンハン教会、フードバンク大阪、フードバンク関西、ぐるり農園、株式会社クリスチャンサービス、崔愛蘭、清水眞一・佐代子

アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町の皆さん

衣類、靴、靴、生活用品、ふとん類、マスク

グッド・サマリタン・チャーチ、女子ご受難会、松井明美

「愛の家」の人々

「愛の家」の炊き出しに参加する人はほとんどが男性です。その中でわずか数人ですが女性たちもいらっしゃいます。

ある日、一人の女性が自分の事情を打ち明けてくれました。

「私は主人も子どももいるけれど、主人が生活費のほとんどを使ってしまい、電気もガスも使えなくて、シャワーもできないんです。だからいつも帽子をかぶっています」それはとても衝撃的でした。帽子をかぶっているのには何か理由があるだろうとは薄々感じていましたが...

浪速教会「愛の家」のシャワー室はコロナ感染予防の為に現在は中止していますが、その女性には週に一度利用してもらうようになりました。それから女性は時には帽子を脱ぐこともできるようになりました。以前から明るい人ですが、表情が更に明るく輝くようになったように思えます。

数年前には教会近隣に住む子どもにもシャワー室を利用してもらっていた事があります。その子は父親が生活費を全て賭け事につぎ込んでしまい、シャワーはもちろん、食べ物さえもなくして私たちがお米やパン、食物を渡したり、子ども食堂を利用していた事もありました。

これからも必要な方々に使っていただける「愛の家」となりたいと思います。



発行責任者 金鐘賢

〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3

浪速教会「愛の家」内

TEL 06-6561-4712(教会)

E-mail: ainoie@msn.com

ホームページ: www.ainoie.org

献金振込先 (ゆうちょ銀行)

金融機関コード: 9900

店番: 99

預金種目: 当座

店名: ○九九店(ゼロキユウキユウ店)

口座番号: 299392

口座名: 在日大韓基督教会浪速教会